

区長さんとの 懇談会を開催しました

住みよい まちづくり



市民の皆さんと行政との連絡調整役や各種の取りまとめなど、様々な役割を担っている区長さんとの懇談会が、5月19日、総合体育館卓球場で開催されました。

懇談会では、市長をはじめとした市執行部から、今年度の重点施策、予算などの説明があり、区長さんからは地域の問題や、市政に対する意見などが出されました。

ここでは、その概略をお知らせします。

質 前原公民館前の交差点は見通しが悪く大変危険。死亡事故は起きていないが、何度か事故が起きているので信号機を設置して欲しい。

答 県道がカーブしていて交通量も多い箇所なので大変危険だと思います。公安委員会を通じ要望を伝えます。



質 沓掛地区の消防第9分団は現在2台の消防車が配備されています。今後も2台配備を継続して欲しい。

答 消防団員数が変わらなければ2台配備のままいく可能性はありますが、最新の消防車なので1台で対応はできると思います。消防団と協議します。



質 配布文書は最小限の量で市民に情報が行き届くことが大切であり、チラシとお知らせ版の重複や記事の再掲を見直し、少なくすることは可能だと思ふ。経費削減や区長・班長の負担軽減の観点からも月1回にしてもいいのではないかと。

答 平成22年度に配布方法の見直しを実施し、約500万円の経費削減を図りました。必ず見てもらいたい情報は重複して掲載し、皆さんの目に付くよう努力しています。



質 市議会の中継を自宅で見る事が出来れば、若者も市政に関心を持ち、市の発展につながるのではないかと。

答 新庁舎完成までに、どのような方法があるのか検討してみます。



討してみます。

質 残土の埋立ての許可条件に、区長意見書の提出が必要とありますが、同意しないことにより業者から訴えられ裁判で負ける場合があります。行政の支援体制はどうなっているのか。

答 市が全面的にバックアップし、裁判になった場合、市で引き受ける考え方をしています。



質 農機具の盗難が多いため、防犯カメラを設置してもられないか。

答 防犯カメラの設置は今年度20基を予定していますが、防犯カメラだけでは補えない部分もあると思います。一番大切なことは、鍵をきちんとかけることだと思います。